

# 「考える力を育てる問題」 申込用紙

下の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、問題文と一緒にメールか郵送で送ってください。

締切：平成 28 年 12 月 9 日 (金)

申込日： 12 月 7 日

ふりがな 氏名	ひ 護 のりこ 比護 紀子		
所属 (学校)	長岡市 立 川崎小学校		
学年	5 年	教科 (○で 囲む)	国語, 算数, 理科
単元名	グラフや表を用いて書く (光村図書)		
問題の見所	<p>児童は、整理された情報を読み取ることはできるが、複数の資料から目的に応じて、特定の情報を見つけ出し、関連付けることに課題がある。また、情報を整理し、解釈することや受け手の状況に応じて情報発信することにも課題がある。そこで、情報の宝庫である「新聞」を活用して、紙面にある複数の資料から情報を読み取り、情報を整理して、関連付けながら自分の考えをまとめるという問題を作成した。国語科において「新聞」を積極的に活用していくことにより、児童に身に付けさせたい力を高めていくことができると考える。</p>		
出典 (必要な場合のみ)	2016年10月27日(木)付 毎日新聞		
	※元になった問題をお送りください。(メール, 郵送)		

## 申込用紙, 問題の送付先

新潟県小学校教育研究会 事務局 貝沼浩晃

〒950-0908 新潟市中央区幸西3-3-1 じよいあす新潟会館2階

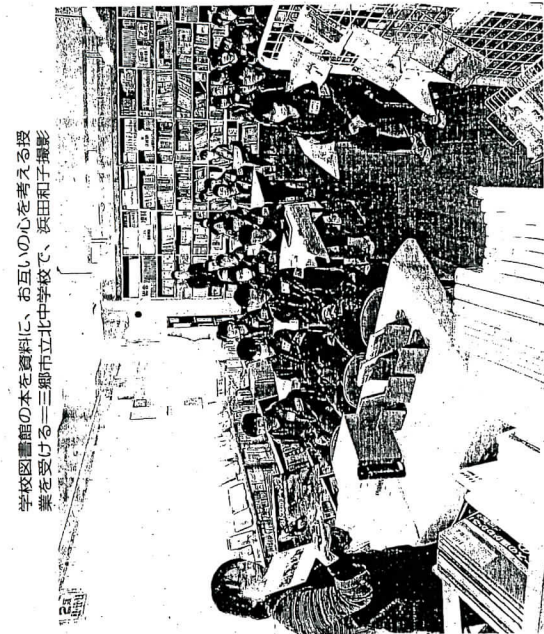
TEL 025-290-2231 FAX 025-245-6060

E-mail k-shoken@niigata-inet.or.jp http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken

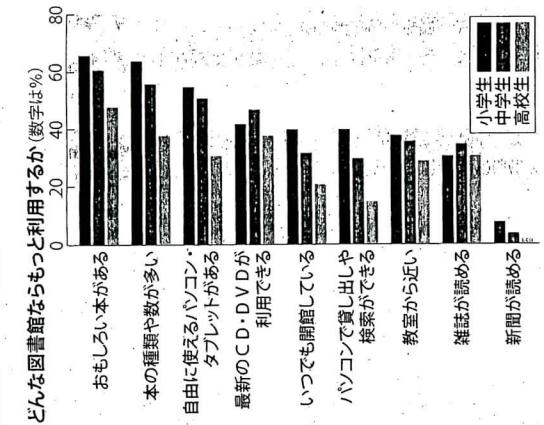




# 第62回学校読書調査



学校図書館の本を資料に、お互いの心を考える授業を受ける三郷市立北中学校で、浜田和子撮影



# おもしろい本 もっと

## 不読率 高校生で深刻

◆5月1カ月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか。

冊数	小学生	中学生	高校生
0冊	4	15	57
1冊	7	17	17
2冊	7	18	10
3冊	6	7	6
4冊	7	8	2
5冊	7	7	3
6冊	7	5	1
7冊	6	3	1
8冊	5	2	1
9冊	3	1	0
10~15冊	21	6	1
16冊以上	23	4	1

◆5月1カ月の間に、雑誌を何冊ぐらい読みましたか。

冊数	小学生	中学生	高校生
0冊	43	55	59
1冊	16	14	14
2冊	9	10	9
3冊	6	7	6
4冊	4	3	4
5冊	4	2	2
6冊	1	1	1
7冊	1	1	0
8冊	1	1	0
9冊	1	1	0
10~15冊	5	2	2
16冊以上	5	1	0

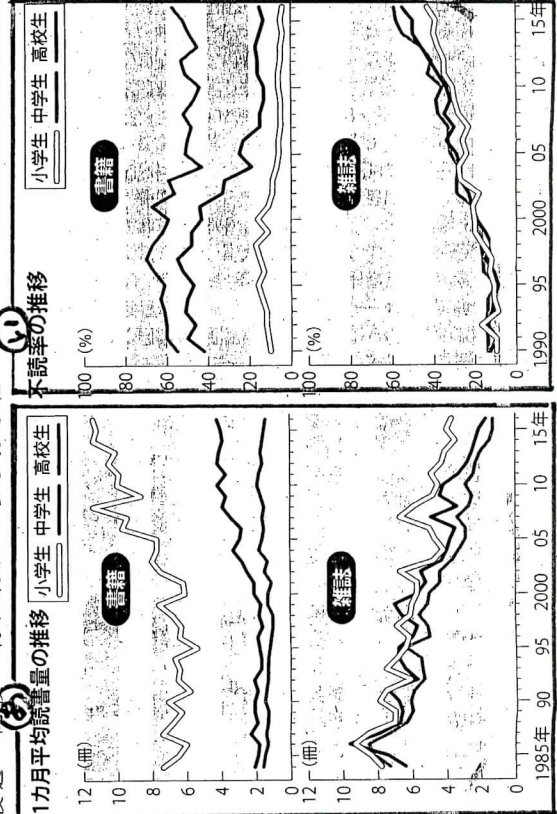
◆あなたは、どんな学校図書館ならもっと利用したいですか。(いくつでも)

項目	小学生	中学生	高校生
おもしろい本がある	66	61	48
本の種類や数が多い	64	56	38
雑誌が読める	31	35	31
新聞が読める	8	4	2
最新のCD・DVDが利用できる	42	47	38
いつでも開館している	40	32	21
自由に使えるパソコン・タブレットがある	55	51	31
パソコンで貸し出しや検索ができる	40	30	15
教室から近い	38	36	29
その他	9	9	6

◆学校図書館で働いている先生に、あなたはどんなことをじてもらいたいですか。(いくつでも)

項目	小学生	中学生	高校生
本の選び方や本の内容について相談のってくれる	29	22	22
本がある場所を案内してくれる	53	42	30
本の読み聞かせをしてくれる	15	5	2

「読書まつり」などの学校図書館行事をひらいてくれる84  
安心できる場所を作ってくれる46  
その他6



◆高校生が最も読書量が増えている。小学生は毎年1.7冊、中学生は1.5冊増えた。95年調査と比較すると、雑誌はまったく読まなくなった。小学生で4冊、中学生は6冊に増えている。

◆雑誌の不読率は、90年代半ばから小中高生で急増し、今回調査では小学生が44%、中学生が58%、高校生が68%に達している。

◆一方、雑誌の不読率は、90年代半ばから小中高生で急増し、今回調査では小学生が44%、中学生が58%、高校生が68%に達している。

## 児童・生徒 図書館に要望

全国の小中高生に「どんな学校図書館ならもっと利用したいか」(複数回答)を聞いたところ、「おもしろい本がある」が小学生66%、中学生61%、高校生48%に最も多かった。次いで「本の種類や数が多い」が小学生64%、中学生56%、高校生38%、高校生38%。小学生や中学生では「自由に使えるパソコン・タブレットがある」が31%、中学生が35%、高校生が31%に最も多かった。次いで「最新のCD・DVDが利用できる」が小学生8%、中学生4%、高校生2%に最も多かった。次いで「いつでも開館している」が小学生42%、中学生47%、高校生38%に最も多かった。次いで「パソコンで貸し出しや検索ができる」が小学生40%、中学生32%、高校生21%に最も多かった。次いで「教室から近い」が小学生55%、中学生51%、高校生31%に最も多かった。次いで「雑誌が読める」が小学生40%、中学生30%、高校生15%に最も多かった。次いで「新聞が読める」が小学生38%、中学生36%、高校生29%に最も多かった。次いで「その他」が小学生9%、中学生9%、高校生6%に最も多かった。

児童・生徒の自由回答では、児童・生徒の「本をよむのが好き」が小学生は「先が楽しい」(好きなことができる)、「中学生は「こつこつと場所がほしい」(静かである)と答えている。高校生は「個人のスペースがある」「本を読むことを強要されない」。図書館に読書以外の機能を求める声も寄せられた。文部科学省は公立の小中学校の学校図書館について、整備すべき

(注) 数字は%、小数点以下は四捨五入。無回答は省略。複数回答は合計が100%を超える。0は0.5%未満。